京葉ガス KEIYO GAS ほっと、人、あんしん。

News Release

平成２２年１２月１４日

京葉ガス「小さな親切の会」

今年も「小さな親切活動」を実施

――献血運動、事業所周辺の清掃、チャリティバザーなど――

▲JR 市川駅北口周辺でごみを拾う社員＝12月9日

▲献血運動に参加する社員＝京葉ガス本社、9月9日

京葉ガスは、昭和６０年に全社員で構成する「小さな親切の会」を発足しました。以来２０年以上にわたり、始業前に行う各事業所周辺の清掃活動をはじめ、献血や募金活動、使用済み切手の収集など、快適で豊かな地域社会の実現を目指して、さまざまな活動を実施しています。

１２月９日、恒例の「年末クリーン大作戦」を実施し、本社（市川市市川南）周辺道路からＪＲ市川駅北口ロータリーにかけて、総勢２００人の社員が清掃をしました。始業前の午前８時からおよそ３０分間で、たばこの吸殻や紙類などの燃えるごみ、空き缶、空き瓶など、合計約１２ｋｇを収集しました。参加した社員からは「年々ごみの量が減ってきている。市川駅南口の再開発や北口の整備で生まれ変わった街を、市民がきれいに利用してくれている結果だと思う」などの声があがりました。

また、１２月２１日から２４日には、本社で社内限定の「チャリティバザー」を実施します。これは、社員から集めた日用品などを出品するもので、来年、収益金を市川市社会福祉協議会に寄付する予定です。

京葉ガスは、今後も全社員が「地域社会に共感を得られる企業活動」に努めてまいります。

©YUKA DESIGN